広島市都心部における広島県の取組について

1 広島市都心部に対する県の考え方

人口減少や東京一極集中が進展する中で、本県が持続的に発展するためには、広島都市圏の求心力と活力の核となる広島市都心部が、これまでの人口、産業、都市基盤などのあらゆる面での集積を活かして、さらに中枢拠点性を強化し、県全体の自立的発展を牽引していく必要がある。

そのため、引き続き、広域的に波及効果のある都市基盤などを整備するとともに、人々を惹きつける質の高い都市環境の整備や都心の魅力向上に戦略的に取り組んでいくことが重要であると考えている。

2 広島市都心部の中枢拠点性の強化に向けた取組

◆ これまでの取組

県域に広く波及効果のある都市基盤の整備などを中心に取組を支援

- 新球場建設の支援
- JR 広島駅周辺の市街地再開発への支援 など

◆ 県・広島市連携事業の実施

広島県知事・広島市長会談（平成 23 年 11 月 17 日開催）において、広島市都心部の活性化に県と広島市が連携・協力して取り組むことに合意。広島市都心部において、国内外の多様な人材や企業を惹きつけるため、回遊性の向上や快適な都市空間の形成など魅力ある都市環境の形成に資するプロジェクトについて、平成 27 年度から県・広島市連携事業として着手。

H27 県・広島市連携事業	取組のねらい
美しい川づくり	地域特性やポテンシャルを活かした魅力ある都市空間の創出
広島駅周辺地区のまちづくりの推進	地域主導のまちづくり（エリアマネジメント）の推進
都市計画制度を活用した都心部の活性化	土地の高度利用の促進による都心部全体の賑わいの連続化
楕円形都心づくりを支える歩行環境の整備	都心全体の回遊性の向上
★ 都心活性化プランの策定	官民が連携したまちづくりの展開

3 都心活性化プラン（仮称）の策定

広島市都心部の活性化を促進し、中枢拠点性を一層強化するためには、県・広島市での連携に加えて、官民が連携した一体的なまちづくりを進めていく必要があるため、都心に関わる多様な主体が連携し、中長期的な視点で、広島市都心部の目指すべき姿・将来像や取組の方向性などを描き、共有した上で、将来像の実現に向けた具体の取組を進めていく必要がある。

本県としては、「都心活性化プラン（仮称）」について、内外の方々を惹きつける都市機能の充実など、広島市都心部の中枢拠点性を高めるという観点を重視してプランの策定に関わり、実効性のあるプランを策定したいと考えている。